



ラグビーボールを追いかける児童たち



ノーサイドの精神から思いやる心を  
オリンピック・パラリンピック教育推進事業 1月10日

2020東京五輪への関心を高めようと、1月10日、大形小学校において、同校保護者でつくばラグビーフットボールクラブのコーチである人見隆さんと高校ラグビー全国大会出場経験者の中川喜夫さんを講師に、タックルの代わりに腰ひもを取るタグラグビー教室が開催されました。4～6年生の児童102人が、5.6人のチームを組んで学年毎に対戦。ボールを持った児童は細かいステップで相手をかかわし、トライを決めるなど、タグを取る楽しさやトライする喜びを体験し、「ノーサイドの精神」を学び、相手を思いやる心を培いました。



団体戦に挑む中学生剣士

1月19日、県西地区の少年・少女剣士が参加して行われる「第27回下妻市長杯争奪少年剣道大会・第35回村井登杯争奪少年剣道大会」が市総合体育館で開催され、約600人の小中学生剣士が参加して、熱戦を展開しました。

会場では中学生と小学生が6つのコートに分かれ団体戦と個人戦を行い、日ごろの稽古の成果を披露。小学生低学年の部では、初々しさが残る少年剣士が審判から指導を受けながら懸命に竹刀を振っていました。試合を見守る剣士の母親は「剣道を始めて、相手を思いやり、礼儀正しくなった。これからの子どもの成長が楽しみ」と話しました。

第3527回下妻市長杯争奪少年剣道大会  
第35回村井登杯争奪少年剣道大会 1月19日

小中学生剣士600人が熱戦展開



試験に向けて勉強する参加者

1月20日、まちづくり市民グループ「しもつま3高」は活動拠点の「かふえまる」で、かふえまる塾「初めての英検5級編」を開催しました。授業には、1月26日の英検(実用英語技能検定)5級の試験に挑む市内小学6年生5人が参加。ゲーム形式で文法を学んだり、分かるまでリスニングをしたりして試験対策をしていました。企画者の斉藤直美さんは、子どもの挑戦への心配の声を多く聞き、ママの立場から市が取り組む英語教育のまちづくりに何かできないかと企画。「この活動を知ってもらって、チャレンジする親子をサポートしたい」と話しました。

市民が支える英語教育のまちづくり  
かふえまる塾「初めての英検5級編」 1月20日



さらなる飛躍の年を祈念して万歳三唱

下妻市、下妻市商工会、常総ひかり農業協同組合の共催による「令和2年下妻市新春の集い」が1月16日、八幡屋(長塚)で開催されました。集いには、地元選出の国会議員、県議会議員、市議会議員、各種団体や市関連企業の代表者など242人が参加。新年のあいさつを交わしながら、市の発展を誓い合いました。

主催者を代表して菊池市長が「本年は、合併から15年目。合併後、関係各位のご尽力により、着実にまちづくりを進めてきた。人口減少に伴う経済活動の縮小や高齢化による担い手不足の問題が深刻化しているが、引き続き関係機関と連携・協力し、課題解決を図りたい」と力強くあいさつ。乾杯の後、祝宴に移り、参加者は和やかな雰囲気の中で懇親を深めていました。

市の発展を誓い合う  
令和2年下妻市新春の集い 1月16日



拜殿へ放水する消防団員(第3分団)たち

地域の宝を火災や自然災害から守ろうと、国指定の重要文化財「大宝八幡宮本殿」を有する大宝八幡宮の境内で1月26日、消防訓練が行われました。下妻消防署や地元の消防団、八幡宮職員、地元住民など約80人が参加しました。

拜殿の火災を想定した消火訓練では消防署員と消防団員が連携して本番さながらに放水を行い、迅速な消火活動が実施されました。

地域の宝を炎から守る  
文化財防火デー「消防訓練」 1月26日



一斉にスタートする参加者たち

下妻市恒例の「新春歩け歩け大会」が1月3日の早朝、Waiwaiドームしもつまを発着点に、市民など約680人が参加して行われました。完歩後は、完歩賞のミニだるまが手渡されたほか、温かいお汁粉が振る舞われ参加者たちは疲れを癒していました。

歩いたコースは国道125号を通り下妻二高や市役所などを沿って、大宝八幡宮を折り返す約8.8km。参加者は思い思いのペースで歩いていました。ゴールした参加者は、福袋抽選を確認し、当選者は「ちょっとしたお年玉のようで、うれしい」と喜んでいました。

年初めの恒例行事として、参加しているという60代男性は「天気も良くて気持ちよく歩けた。今年も良い歩きはじめができた」と完歩賞のミニだるまを受け取っていました。

新春に歩いて健康! 680人が完歩  
第49回新春歩け歩け大会 1月3日



ミニだるまを受け取る参加者

有料広告欄

有料広告欄